

2016World Kenpo Competition 2016世界拳法選手権大会

8月7日(日)浜松市可美総合センターにおいて180名の選手が熱戦を展開した。

日本勢は、事如く身長2m 体重100kgの外国勢に苦戦をしいられるなかで若干19歳の中嶋伊織選手が神仏が付いているかの活躍でダウンを奪い2016世界チャンピオンとなった。

2016 世界拳法選手権大会

8月7日(日)

2016 World Kenpo Competition

(第3種郵便物認可)

大会は、年齢や性別に応じ、トーナメント形式で乱取りや形が行われた。ヘッドギアや、グローブを着けた選手が豪快な回し蹴り

世界から180人
拳法鍛錬競う
南区で東海地区大会
二〇一六世界拳法選手権大会・第四十回東海地区拳法選手権大会が七日、浜松市南区の可美総合センターで開催された。フランス、スペイン、ネパール、ニュージーランドなどの代表選手を含めた百八十人が、日ごろの鍛錬の成果を競った。



豪快な蹴りを繰り出す外国人選手。浜松市南区で



や、鋭い突きを繰り出すと、応援席からは歓声が上がった。大会に出場したネパールのナディ・アーチャラヤさん(21)は「武士道に由来する拳法を学ぶため、三年前に世界拳法会連盟がある浜松に来了。優勝を狙っていた。」(小沢慧一)

- ◇世界拳法選手権大会兼東海地区拳法選手権大会(7日) 浜松市可美公園総合センター
- ▽小学形①エマガメンデイ アビタル②本島大暉③鈴木美織
- ▽中高形①西村静流②町田怜奈③野沢竜生
- ▽一般女子形①加藤奈々②安藤仁③ヴェロニカレドゥク
- ▽幼年乱取り①山本俊輔②稲木瑠生
- ▽同敢闘賞①齊藤寿直、岡田琉斗 柴田騎里、金森幹太、池島文虎、加藤隼跳、永田佳生、鈴木陽菜、池谷翔悠、柴田時斗、橋本尚輝、伊藤紗来、荒河秀一郎、高津ゆずき、コルカウスタリツ、大沼諒珂
- ▽小学男子低学年乱取①大橋龍悟②辻村悠希③鈴木健吾、米山恵翔
- ▽同中学年乱取①森本朔矢②安藤悠人③加茂皓史郎、野沢悠良
- ▽同高学年乱取①サンガシャチャッピー②宇佐美技登③石田倫太郎、飛驒優太
- ▽中学男子乱取①森本翔太②サンガットシャヤマ③チラクバハドゥアカーキ、加茂成明
- ▽高校男子乱取①野沢竜生②西村静流③エンシオウメイヤー
- ▽一般男子乱取①中嶋伊織②ヒューゴ・パロツソ③カーザ・ザバラ、ジェームス・スミス
- ▽小学女子低学年乱取①森本真帆②木田美々嘉③喜田桃羽、戸田野恵
- ▽同中学年乱取①鈴木香輪②鈴木美織③池谷萌華、島津愛々絵
- ▽同高学年乱取①土田優花②下塩入歩花③宇山咲菜、山北心海
- ▽一般女子乱取①西村美遊②野村咲③加藤奈々、町田怜奈
- ▽柔法①エマガメンデイ アビタル、アラインイササ②佐原香、安藤慎吾③小沢早幸、高見裕行
- ▽団体①スペイン②日本③フランス
- ▽優秀選手賞①ヒューゴ・パロツソ、森本朔矢
- ▽神原清司賞①中嶋伊織

16クラスのうち日本が12クラスで優勝!

思わぬ健闘をみせた。

外国選手優勝者

小学形:エマ選手(スペイン) 小高学年乱取:サンガ選手(ネパール) 演武:エマ&アライン(ス



心を鎮め勝負をまつサムライ達!



2016世界拳法選手権大会
2016 World Kenpo Competition

男子一般乱取の部

優勝:中嶋伊織 準優勝:ヒューゴ・パロツソ(スペイン) 第三位:ジェームス・スミス(NZ) カーザ・ザバラ(Spain)

女子一般乱取の部

大いに健闘し上位入賞者は、大和撫子が独占！



優勝
西村美遊

Miu Nishimura
2016 World Champion

準優勝
野村 咲

Saki Nomura
2nd

第三位
加藤 奈々

Nana Kato
3rd

第三位
町田 怜奈

Rena Machida
3rd

女子一般形の部

優勝:加藤奈々 準優勝:安藤 仁 が優勝、準優勝を奪取！



拳法会は、何かが違う！ Kenpo Kai, something is different.
濱田敏哉先生(居合道師範)が言いました。やはり拳法会は、何かが違う。選手たちの姿勢や応援するもの観客も違う。
Toshiya Hamada sensei said. Kenpo Kai is, something is different.
Player of the attitude (Stand, sit). Organizing of audience of footwear.
Cheer's attitude is also great.

武士道 Bushi Do

礼節に厳しい居合道 濱田敏哉先生から見た拳法会

私が見た拳法会の特性(居合道七段 濱田敏哉)

先日の世界選手権に幸運にも招待を頂きました。拳法会そのものには門外漢ですが、大橋先生が日頃唱えておられる「武士道」に関連して次の3点特に大きな感銘を受けました。

- 1、未だ幼子とも言うべき幼児達が激しい闘志を持って戦う姿は、他の武道でもあまり見ません。正しい闘争心は幼児の時期に養うべきだと思いました。負けて悔し涙を流していた(痛さに耐えていたのかも)6歳の子がいました。
- 2、戦い終わった後、勝者と敗者が挨拶を交わすのは、日本古来の武道においては通例ですが、主審の後方で両者が互いに正座の礼をし肩を抱き合っで礼を尽くす拳法会の礼式は他にあまり例を見ません。「武道は礼に始まり礼に終わる」の典型です。
- 3、決然と判定し無駄のない試合進行を行う素晴らしい主審先生が数人いました。瞬時の判定を必要とする武道における主審はかくあるべきです。



姿勢 Player of attitude

敬意の礼徳 Respect for each other.



整列 Cheer's the attitude

観客の履物



応援の姿勢



参加することに意義がある！

しかし、参加するには、
勇気と不屈の精神が必要です。



懇親会で国際交流！ 世界が武道で平和に！



EU本部長



(社)障害者武道協会岩堀理事



オセアニア副本部長



楽しく国際交流 さあ！世界へ！



南アジア本部長



IKKO会長

